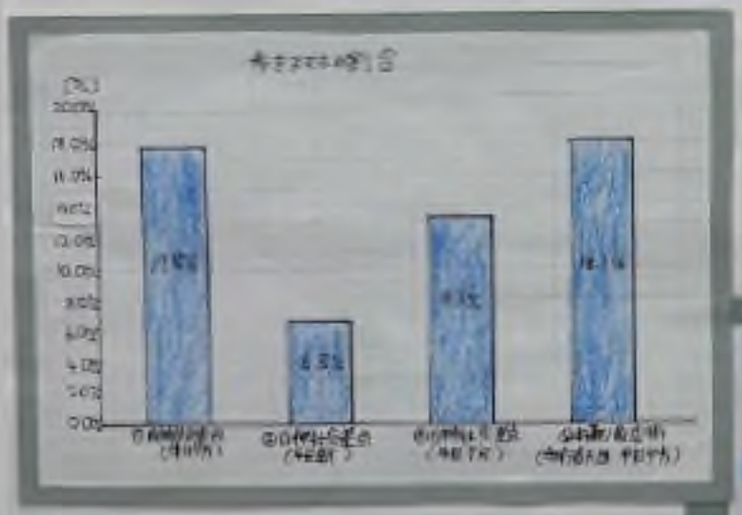
約7人に1人?!
歩きスマホをしているって本当?
～町で歩く1,404人を調べて分かったこと～

調査のきっかけ
歩きスマホをしている人を見つけることが多く、実際にはどのくらいいるのか気になった。そこで、時間帯や場所によって歩きスマホをする人の割合に違いがあるのか調べることにした。

予想
- 平日は休日より歩きスマホをしている人が多い。
- 平日は朝よりタ方の方が歩きスマホをしている人が多い。
- 東や自転車の通らない歩行者天国のお通り商店街では、交差点よりも歩きスマホをしている人が多い。

調査方法
調査場所:日伸社前交差点、本通り商店街
調査時間:1回30分
調査対象:調査場所で観察者に向かって歩いてくる人を対象とした。交差点では、信号が青になってから横断歩道を渡り始めた人を対象とした。
観察方法:歩行者観察で歩きスマホをしている人数を数えた。歩きスマホの定義:スマートフォンを見たり操作しながら歩いている人。立ち止まって操作している人、電話をしている人は対象外とした。





今回の調査では、新宿の約7人に1人が歩きスマホをしていた。



考察
東京消防庁の統計を調べて分かったこと
- 歩きスマホによる救急搬送は、令和4年が今回の調査の2倍に増えていた。
- 事故は「転ぶ」「落ちる」「ぶつかる」の順に多かった。
- 救急搬送された人のうち、中等症または重症だった。

調査して分かったこと
- 今回の調査では、約7人に1人は歩きスマホをしていた。
- 朝は歩きスマホの割合が少なかったが、夕方になると多くの人が歩きスマホをしていた。
- 歩行者天国の通りや交差点では歩きスマホの割合は大きく変わらなかった。

そこから考えたこと
- スマホを見ながら歩くと、周りの状況が見えにくくなり、転んだりスマホ物にぶつかったり段差につまずいたりする原因になり、事故につながるのではないかと思った。
- 東や自転車が通らない歩行者天国では、「ここなら大丈夫」と思って、歩きスマホをする人が増えるのではないかと考えた。

私の提案
スマホを見るときは、歩き始めではなく、安全な場所で立ち止まる。
スマホは生活に必要なものだから、便利に使いながら、歩きスマホによる事故を防ぐための呼びかけをもっと増やしてほしいと思った。

まとめ
調査をして、歩きスマホをしている人は、場所や時間によって割合が違うことが分かった。歩きスマホは、周りへの注意が疎かになってしまう可能性がある。スマートフォンを使うときは、立ち止まって使うことが大切だと思った。

出典 2024年7月29日～8月2日 日伸社前交差点、本通り商店街で行った歩きスマホの観察(本人調べ)
歩きスマホによる事故について 消防庁 2024年10月公開(令和5年)消防庁ホームページ